

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにでも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (253)

拗音

「お母さん、ただ今！」 小4のタモツ君が元気よく学校から帰って来ました。

「お帰りなさい。」

「お母さん、ヨーオンって知ってる？」

「キャキュキョとかシャシュシヨって、いうの？」

「そう！ 今日、担任の先生が出張だからって、教頭先生が来て教えてくれたんだ。カキクケコが直音で、ちよくおんキャキュキョがようおん拗音なんだって。アイウエオの拗音って、知ってる？」

「アイウエオに拗音なんて、ないでしょ。」

「そうだよ。昔はヤイユイエヨだったけど、今はヤユヨになったヤ行のヤユヨがア行の拗音にあたるんだって。アイウエオ、ヤユヨ。カキクケコ、キャキュキョ……。」

「へー。そうなの。サシスセソ、シャシュシヨ。タチツテト、チャチュチヨ……か。」

直音・拗音の例

カ行の場合

直音 カ キ ク ケ コ
拗音 キャ キュ キョ

ア行の場合

直音 ア イ ウ エ オ
拗音 ヤ ユ ヨ



【編集部注】『広辞苑 第六版』には、拗音について、〈[言]（「拗」は、ねじれる意）①日本語のア [a] ウ [u] オ [o] の母音に半母音 [j] を伴った子音または口蓋化した子音が先行する音節。「や」「ゆ」「よ」の仮名を他の仮名の下に添えて表し（現在は一般に小さく書く）一音節をなす。すなわち、「きゃ」「しゅ」「ちょ」など。開拗音。②「か」「が」「け」「げ」の子音と母音との間に [w] の音の挿入された音節。「くわ [kwa]」「ぐわ [gwa]」「くゑ [kwe]」「ぐゑ [gwe]」。現在は、方言に「くわ」「ぐわ」が残るのみ。合拗音。⇔直音）とあります。タモツ君は、①の開拗音のことを言っています。なお、ヤユヨはヤ行の直音ですが、教頭先生は、体系立てて考えて、ア行の拗音にあたるを見たようです。